



国連機関におけるキャリア 構築の一例

RBAキャリアセミナー

宇野智之

1月27日

邦人職員支援制度についての経験と見解

JPO

- 利点：正規職員と同様の勤務経験が積める、日本政府代表部・大使館からの支援あり（こちらからのアップデートも重要）、JPO中に培った勤務経験や人脈を活かしてポスト獲得に向けた活動ができる
- JPO後半、就職活動：国連の正規職員ポストは少なく、たとえ資金があってもポストの新設には大変な労力が必要なため、事前に自分のポストの予算、必要性、自分でないとできな部分についてよく考え、上司などと相談することが肝要。このタイミングで他の国連機関に応募すると自分のCVについて考えることができ、また所属部署に対しても（自分が必要とされているのであれば）働きかけがしやすくなる

任期付き職員としていったん外務省等で働く

- 非常に有用。働き方は全く違うが、日本政府の視点を知ることは加盟国の集まりである国連で生き残るためには重要。
- たとえ専門分野が違ってても、見識を広げる意味でも有用

国連を目指す邦人へのアドバイス (個人的に感じる国連職員の長所と短所)

長所

- ▶ 女性が活躍しやすい
- ▶ 自分の将来を自分で決められる、リスクヘッジ
 - ▶ 仕事の場所や種類を自由に選べる
- ▶ やりがいがある
 - ▶ 利益や株主のためだけではない、世界のために働く
- ▶ ワークライフバランスが優れている
- ▶ 福利厚生が充実

短所

- ▶ 基本的に終身雇用ではない
- ▶ キャリアは自己責任
- ▶ 危険な赴任先もある

国連を目指す邦人へのアドバイス (勤務経験、勉強等)

- ▶ 興味のある分野を掘り下げる、行動する
- ▶ 汎用性の高い技能や経験を身につける（戦略コンサル、金融、プロジェクト管理、などは国連で全般的に求められるスキル）
- ▶ 英語のコミュニケーション能力を磨き、国際的な交友関係を築く
- ▶ 在外公館の専門調査員、草の根無償委嘱員、各国際機関でのインターン、国連ボランティア（UNV）、興味のあるNGO等、関連する経験を積む。関連する記事を書く。自分が当該分野に真剣であることを証拠づけるとともに、行動することで扉が開くこともあるし、自分の適性もわかる
- ▶ 平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業（外務省の委託事業）を利用してJPOに応募
- ▶ 任期付き職員など、国連外の関連する仕事も検討する
- ▶ とにかく応募する